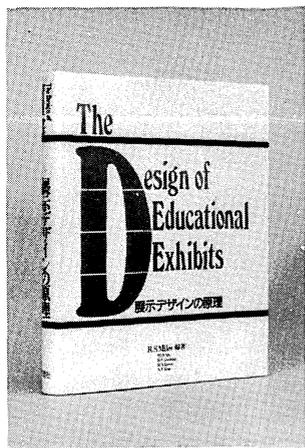


紹介

R.S.Miles編著・中山邦紀訳「展示デザインの原理」



今日、デザインが我々の生活の中で大きな地位を占めるようになってきていることは異論がないであろう。これを反映して、デザインに関する本や雑誌も様々なものが出版されている。しかし、博物館と関係の深い展示デザインに関する図書はあまりなく、まして博物館の展示については専門的に扱ったものは極めて少ない。

The Design of Educational Exhibits の翻訳である本書は、この空白をうめる貴重なものである。

本書は大英自然史博物館での生態系や進化の特別展示や展示更新などの実践経験にもとずいて同館の職員が書いたもので、展示計画の進めかたや展示デザイン上の留意点が具体的にまた統計学の分析などを織り交ぜ体系的に述べられている。

その内容は、「展示の概念」の整理からはじまり、「展示の作業の全体的なながれ」、「展示チームの役割」、「展示内容の組立て方」、「展示デザインの進めかた・留意点」、「展示工事」、「メンテナンス」さらに「完成した展示の評価法」、「展示の更新」とほぼ作業のながれにそって展開している。

原題にあるEducational Exhibitsではまず伝えるべきメッセージから出発すべきで、展示の手法や建築空間が優先されるべきでないことと強調されており、我が国と同様の問題が英国でも生じていることをうかがわせ興味深い。また、完成した展示の評価方法と展示更新について全17章中の3章をさいているが、我が国でも今後多くなるであろう大幅な展示更新や増設計画などの参考として貴重である。

英国と日本、大型館と中小館の違いなどで、組織や作業の進め方については、日本の現状や読者が関係している博物館と異なる部分もあるが、博物館展示の分野では必読の本ではなかろうか。(加藤有次)

編著者のR.S.Miles氏は大英自然史博物館の公共サービス部長。

(中山邦紀訳 丹青社発行 15000円)

申込先：〒110 東京都台東区秋葉原5番9号  
丹青社第2別館4F  
(株)丹青総合研究所  
Tel. 03-836-7600

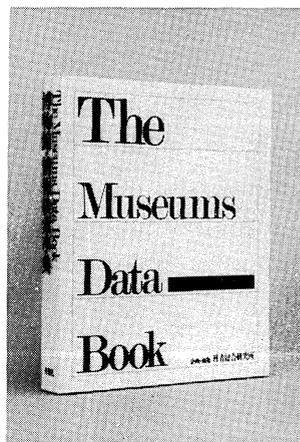
丹青総合研究所編「博物館・情報検索事典」

博物館および関連する業務に関するデータブックである。内容は「国内外の博物館」、「博物館づくりに関連する展示、建築、保存などの団体、業者」、「博物館関連の行政機関、団体、教育機関、研究機関」、「文献」などのリスト、データと「博物館の様々な定義と分類」、「米国のミュージアムストアのレポート」および「展示の基本用語集」で構成されている。

国内の博物館については、かなり幅広く博物館の定義をとらえ約4000館のリストをのせ、アンケートの回答にもとずき開館時間、設立年月日、設立者などのデータを掲載している。また、このうち約600館については展示面積、資料点数、職員数、入館者数などのデータをのせている。どこまでを博物館ととらえるかは議論のあるところであろうが、一つの試みとして評価できよう。少なくとも問い合わせなど、実務上は至極便利である。

ミュージアムストアについては「米国の現状の概観」

「米国ミュージアムストア協会の沿革と現況」「同協会の倫理規程」、「ミュージアムストアの財務分析」が掲載されており、一種のミュージアムストアの入門書になっている。米国の博物館を訪れるとミュージアムストアの充実が驚かされるが、これを読むと博物館運営の有力な資金源としてもミュージアムストアが機能しており、充実されるべき切実な背景があることもわかる。我が国の博物館においても「民活」が話題に



のぼりつつあるが、この中でミュージアムショップが再検討される時期もくるであろう。このための資料としても興味深い。

本書は事典というが必ずしも必要なデータが直接記載されているものではない。データを「当るべき先」を探すための、実践用の「情報検索」事典なのである。(加藤有次)

(丹青社発行 23000円)

申込先：〒110 東京都台東区秋葉原5番9号  
丹青社第2別館4F  
(株)丹青総合研究所  
Tel. 03-836-7600